

2011年4月14日

東北・関東地方の農水産物支援の取り組みについて

住友化学は、東日本大震災の被災地支援の一環として、直接の被害を受けたり、あるいは原子力発電所事故にともなう風評被害などによって深刻な打撃を受けている東北・関東地方の農業、水産業、および食品関連事業に携わる方々を支援するため、以下の取り組みを開始いたしました。

1. 社員食堂での「東北・関東応援メニュー」の提供

4月11日から東京本社（中央区新川）の社員食堂で、茨城県産の「小松菜」を使用したメニューなど、東北・関東地方の食材を用いたメニューを「東北・関東応援メニュー」として販売開始いたしました。また、18日以降は1食50円の義捐金付の特別メニューを販売し、集まった金額と同額を会社が拠出し、合算したうえで被災地へ寄付することとしております。この取り組みは、当面の間続けていく予定です。

2. 被災地応援マルシェ（物産展）の開催

福島県・茨城県を中心とした東北・関東地方の農水産物や加工品の物産展を複数回実施することを計画しており、第1回目となる展示即売会を4月22日に東京本社にて開催いたします。2回目以降につきましては、近隣企業などと共同で規模を拡大して開催することを目指し、現在調整作業を進めております。

以上